

# 《最近の県内経済》(2022年9月を中心として)

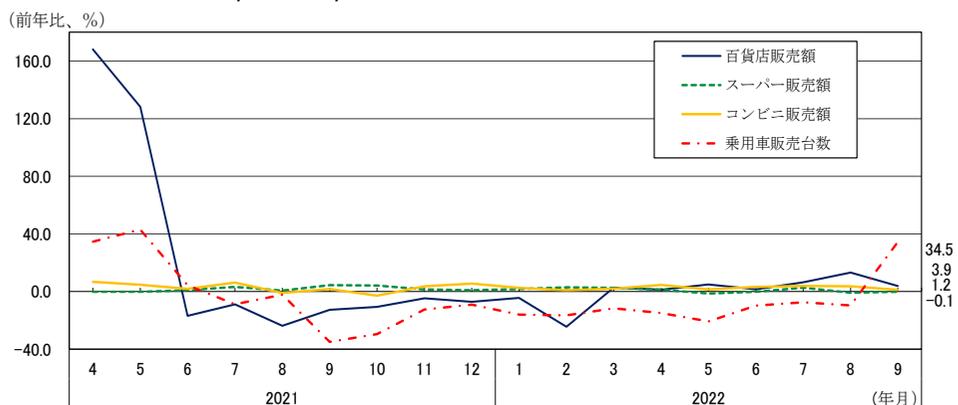
令和4年11月30日

## 今月の概要

緩やかに持ち直している。

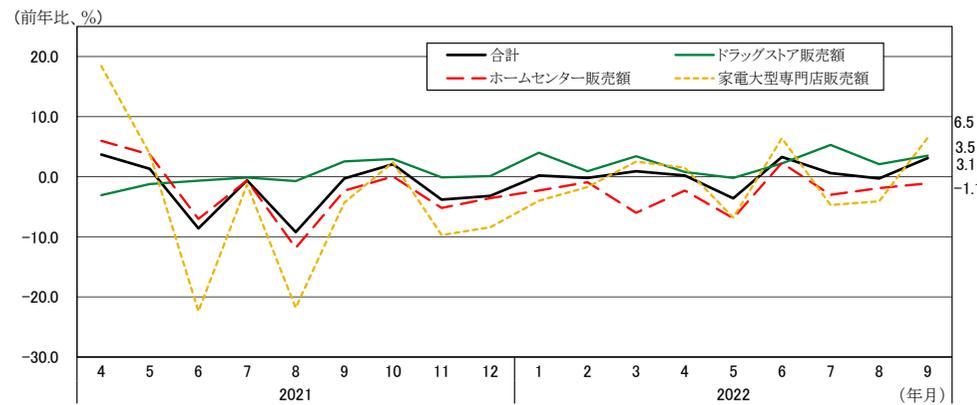
### 1 個人消費 ～持ち直しの動きが続いている

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

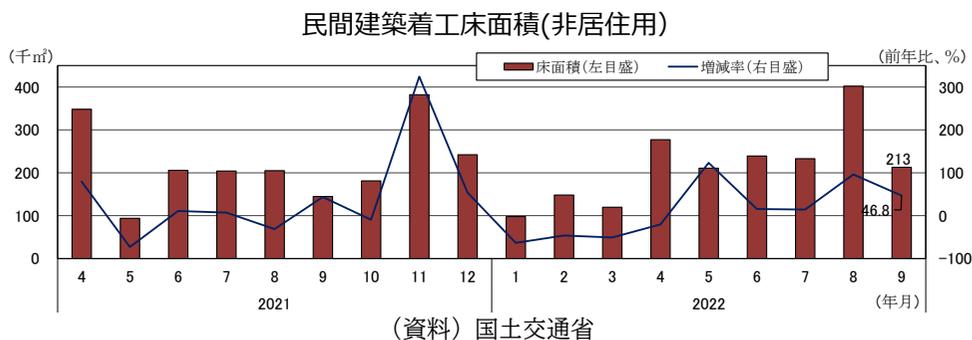
9月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店が112億円で前年比3.9%増(7か月連続の増加)、スーパーは963億円で同0.1%減(2か月連続の減少)となった。また、コンビニ販売は550億円で同1.2%増と、11か月連続の増加となった。行動制限の解除後、外出需要が回復傾向にある。

また、乗用車販売は、前年比34.5%増と15か月ぶりの増加となった。内訳をみると、普通車(同25.5%増)が13か月ぶりの増加となったほか、小型車(同33.4%増)も16か月ぶりの増加、また軽乗用車(同46.8%増)も4か月ぶりの増加となった。部品の調達遅延や半導体不足の影響が徐々に緩和している。

9月の専門量販店販売額は、718億円で前年比3.1%増となった。内訳をみると家電大型専門店が170億円で同6.5%増(3か月ぶりの増加)、ドラッグストアが379億円で同3.5%増(4か月連続の増加)、ホームセンターが169億円で同1.1%減(3か月連続の減少)となった。

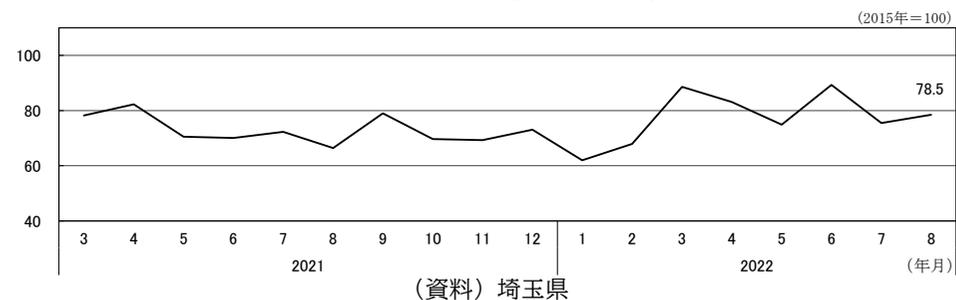
関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、8月<32.1>、9月<31.2>、10月<31.2>で推移している。

## 2 設備投資 ~持ち直している



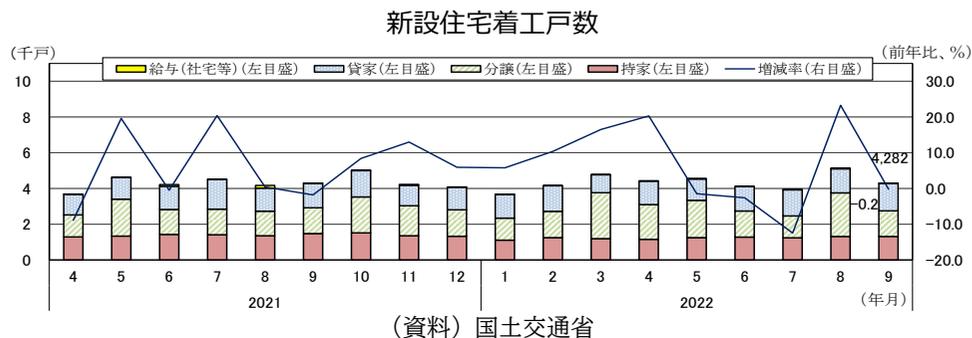
9月の民間建築着工床面積（非居住用）は、213千㎡で前年比46.8%増と2か月連続の増加となった（5か月後方移動平均では前年比51.9%増）。用途別にみると、事務所、病院・診療所が減少したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫、学校の校舎はいずれも増加した。コロナ禍で見送りの案件の実行も幅広い業種でみられる。

## 資本財出荷指数(季節調整済)



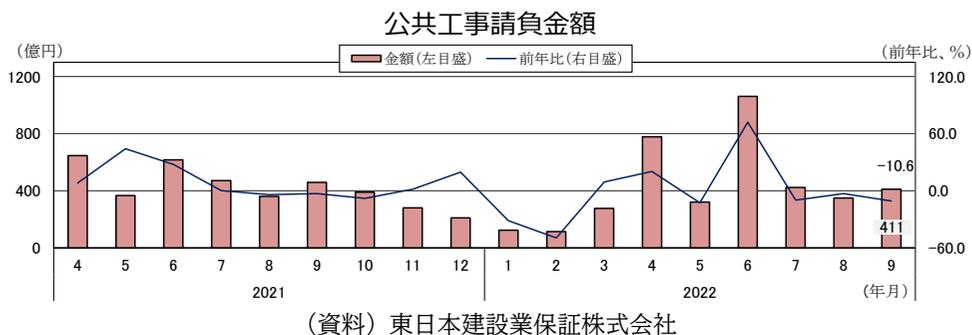
8月の資本財出荷指数（季節調整済）は78.5で、前月比4.0%増と2か月ぶりの増加となった（5か月後方移動平均では、前年比2.0%減）。

## 3 住宅建設 ~底堅い動きとなっている



9月の新設住宅着工戸数は、4,282戸で前年比0.2%減と2か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均では1.0%増、17か月連続の増加）。利用関係別にみると、貸家（1,532戸）が同11.7%増、分譲一戸建（1,319戸）が同15.5%増といずれも増加したものの、持家（1,313戸）が同11.2%減少、分譲マンション（109戸）が同61.9%減といずれも減少した。

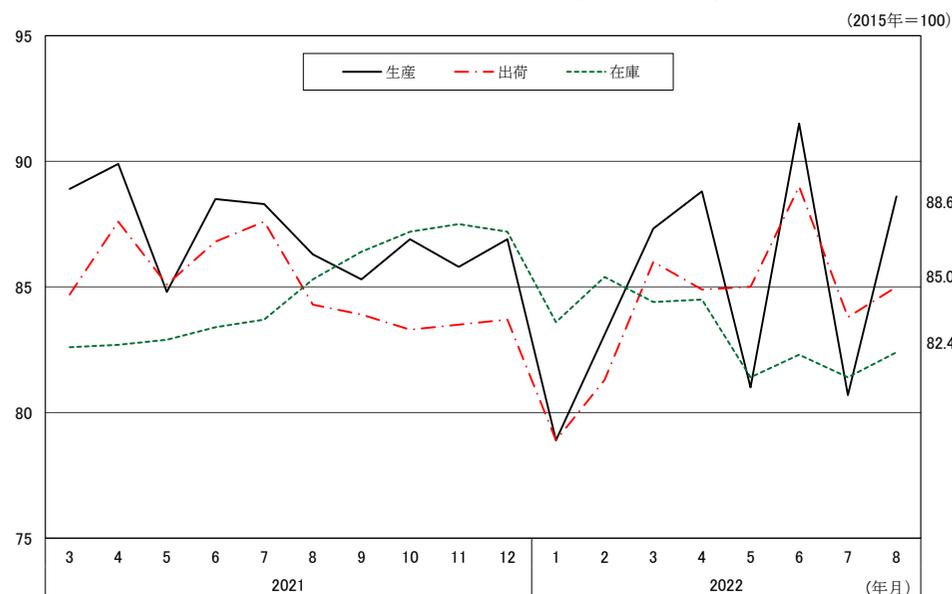
## 4 公共工事 ~横ばいとなっている



9月の公共工事請負額は411億円、前年比10.6%減となった（3か月連続の減少）。5か月後方移動平均では前年比12.8%増で推移。発注者別で見ると市区町村、地方公社は増加したものの、国、独立行政法人等、都道府県は減少した。

## 5 生産活動～持ち直しの動きがみられる

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



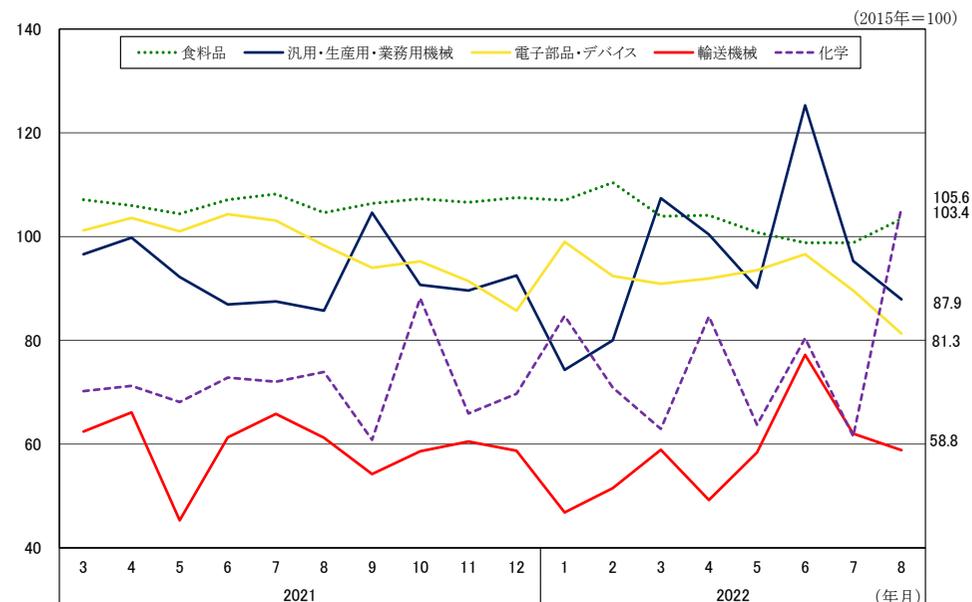
(資料) 埼玉県

8月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、88.6で前月比9.8%上昇(2か月ぶりの上昇)。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置、包装・荷造り機械)、情報通信機械(カーナビゲーション、カーオーディオ)などが低下したが、化学(医薬品、化粧品)、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック製建材)などが上昇した。

出荷指数(同)は、85.0で同1.4%上昇(2か月ぶりの上昇)。鉄鋼(鋼半製品、粗鋼)、情報通信機械(カーオーディオ、搬送装置)などが低下したが、電気機械(サーボモータ、開閉制御装置)、化学(化粧品、合成樹脂塗料)などが上昇した。

在庫指数(同)は、82.4で同1.2%上昇した(2か月ぶりの上昇)。輸送機械(普通トラック)、鉄鋼(普通鋼小形棒鋼、鋳鉄 casting)などが低下したが、電子部品・デバイス(混成集積回路、線形半導体集積回路)、プラスチック製品(合成皮革、プラスチック製フィルム)などが上昇した。

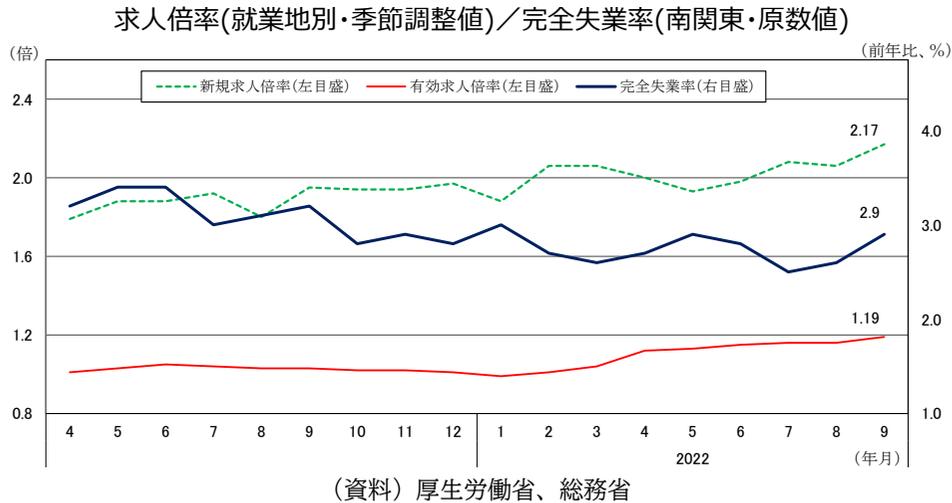
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、103.4で前月比4.7%上昇、4か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、87.9で同7.8%低下、2か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、81.3で同9.3%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、58.8で同5.2%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、105.6で同71.7%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

## 6 雇用情勢 ～穏やかに持ち直している

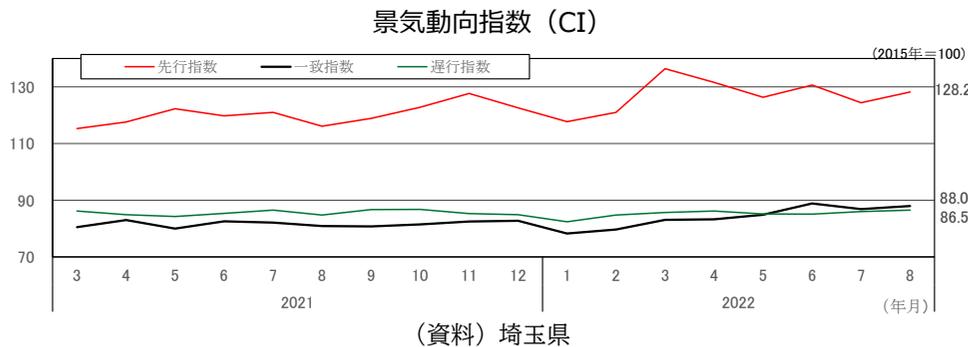


9月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.19倍で前月比0.03ポイント上昇した(2か月ぶりの上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.17倍で前月比0.11ポイント上昇した(2か月ぶりの上昇)。

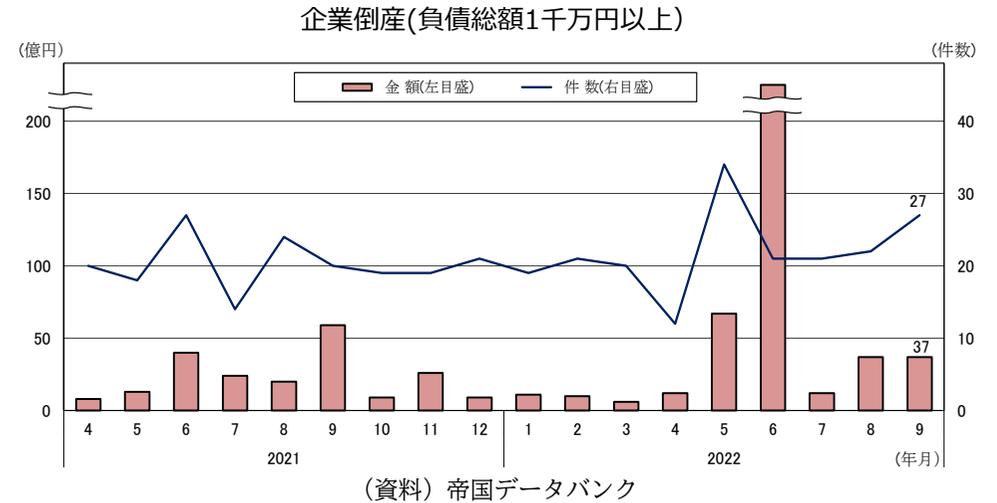
完全失業率(南関東、原数値)は、2.9%で前年同月比0.3ポイント低下した(前年同月比7か月連続の低下)。

## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) ～改善を示している



## 7 企業倒産 ～低水準で推移



依然としてコロナ対策としての政府の資金繰り支援策もあって、低水準で推移している。

9月の企業倒産件数は、27件で前年同月比7件の増加となった。負債総額は37億円で同22億円の減少となった。

業種別にみると、卸売業が最多で8件、次いで建設業が7件、小売業が5件、製造業が4件と続いている。主因別では、販売不振が20件となっている。

- 8月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、88.0で前月比1.1ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、128.2で同3.8ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、86.5で同0.5ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。